



石垣井路

information

明治岡本井路は、大野川の支流である稲葉川に水源の取り入れ口を求め、幹線(6,660m)と明治支線(6,660m)、岡本支線(8,344m)、その他の支線からなり、約693haの耕地に水を供給している。

石垣井路は、屋根上に延長約240mにわたって高さ3.5m～5.5mの水路を築き、耕地に水を供給する施設である。

石垣井路のある11号開渠部分は、大正10年代に箱樋を現状の石垣に改め通水したもので、大分県中山間部の近代の田園風景を理解する上で意義ある施設である。平成9年に県指定有形文化財に指定された。



建設年	大正10年(1921年)
所在地	竹田市大字植木
諸元	延長231.4m、断面0.8×0.8m 石垣の高さ3.5m～5.5m
お問い合わせ	竹田市大字竹田字山手1501-2 竹田市土地改良区 TEL0974-63-1822(FAX共通)